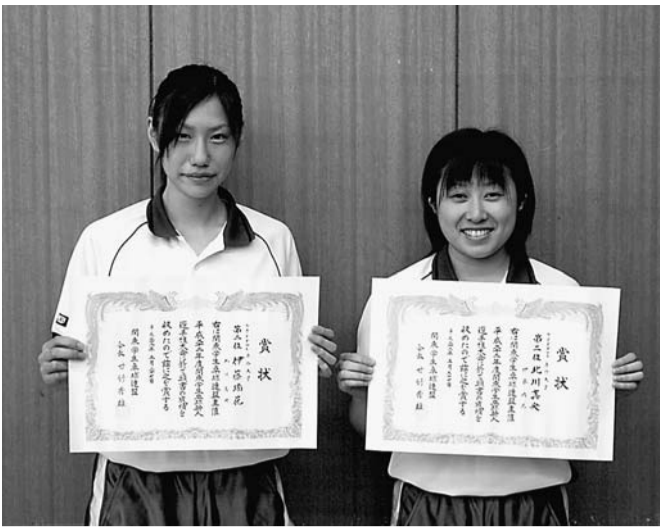


卓球・関東学生新人選手権へ女子ダブルス▽

北川・伊藤ペアが準優勝

男子飯野はベスト16入り



関東学生卓球新人選手権が5月26、27日の2日間、東京・駒沢体育館で行われ、女子ダブルスで北川真央(文1・日南学園高)・伊藤瑞花(商1・相原高)ペアが準優勝に輝いた。

1回戦シードで2回戦から出場した北川・伊藤ペアは順調に勝ち残り、準決勝を迎える。強豪・東京富士大の石井・王ペアを相手にシーソーゲームを制し、3-2で粘り勝ち。勝負強さを見せたが、決勝戦で中央大の山村・北岡ペアから主導権を奪うことができず、1-3で敗れた。

北川は「組んで間もないが、準優勝できたことほどうれしい」と話している。伊藤は「順位への気持ちはそれほど強くないが、決勝まで進むことができて良かった。先輩たちについていけるようになりたい」と力強く語った。

なお、男子シングルスでは、飯野弘義(経営1・湘南工大附高)が6回戦まで勝ち進み、ベスト16入りした。(山口 高弘・商3写真も)

フェンシング・東京都個人選手権

佐賀3位と好成績

「インカレに向け自信に」

フェンシングの東京都個人選手権が6月19日から世田谷区立大蔵第二運動場で行われている。エペ、フルールが終了し、女子フルールで佐賀美咲(文3・聖霊女子短大付高)が3位に入賞した。

本調子ではなかった予選を20位で通過。トーナメント形式の本戦は準決勝で予選1位の相手に敗れた。「予選から気持ち振るわなかった。「一切を切り替えて」トナメン

男子エペでは、注目の上原康士朗(経営1・カレント形式の本戦は準決勝で予選1位の相手に敗れた。「予選から気持ち振るわなかった。「一切を切り替えて」トナメン

男子エペでは、注目の上原康士朗(経営1・カレント形式の本戦は準決勝で予選1位の相手に敗れた。「予選から気持ち振るわなかった。「一切を切り替えて」トナメン

相撲 東日本学生相撲選手権

団体戦でベスト8進出

東日本学生相撲選手権第3戦で早大を5-0で6月6日、両国国技館で行われた。団体戦Aクラスに所属する専大はベスト8入りし、同クラス残留を決めた。

また、この結果、全日本大学選抜十和田大会の出場権を獲得した。予選では第1戦の東大、第2戦の日体大に連敗してしまふ。しかし、

陸上競技・全日本大学駅伝2年連続の出場ならず

全日本大学駅伝の関東地区予選会が6月26日、東京国立霞ヶ丘競技場で行われた。陸上競技部は

バレエボール・東日本大学選手権

順大に敗れるも確かな手応え

東日本大学バレエボール選手権が6月17日から20日まで、東京武道館ほかで行われ、専大はベスト16に終わった。

初戦で神奈川工大、2回戦で立天に3-0で勝利し、ベスト8をかけて順大と対戦。栗山雅史主将(商4・佐賀商高)のサーブで先制し、流れを引き寄せ第1セットを奪う。しかし第2、3セットを落とし、第4セットは粘りのプレーで奪い返すもあと一歩及ばず、フルセットの末敗れた。

栗山主将は「スピードが必要だと実感した。スピードをつけ、パワーもさらに強化して秋季リーグに備えたい」と話した。

課題を克服した新しい専大バレエが炸裂することを楽しみにしたい。(小澤 幸希乃・経営2写真も)

ローラーホッケー・東日本学生選手権

4勝2敗で3位

東日本学生ローラーホッケー選手権が5月22日から6月12日まで、つくばローラースタジアムで行われ、ローラースケート部が4勝2敗で3位となった。

この結果、東西交流戦の出場権を獲得した。個人では家寿多俊(商4・上郷高)が敢闘賞に選ばれた。

国際大会 出場選手

- ◇卓球部 原ちひろ(文2・青森山田高) USオープン大会(6月28日~7月5日)米国シガン州)
- ◇柔道部 原耕大(文3・松商学園) アジア大学選手権(7月1~7日)香港)
- ◇日本学生卓球連盟代表 団主務として参加。
- ◇フェンシング部 上原康士朗(経営1・カレント形式)アジア選手権(7月7~14日)韓国ソウル市)
- ◇バドミントン部 ※エペ日本代表。
- ◇柔道部 上原康士朗(経営1・カレント形式)アジア選手権(7月7~14日)韓国ソウル市)
- ◇バドミントン部 ※エペ日本代表。

「型の美しさを見習いたい」 空手部、埼玉大と合同稽古



▲ 合同練習の様子

空手部(岩田健司主将)法4・郁文館高)は、埼玉大空手部(福田信二主将)との初の合同稽古を6月26日、埼玉大学空手道場で行った。流派や練習法が異なる両大学が交流することで、刺激し合おうと、空手部長の嶋根克己人間科学部教授が埼玉大空手部出身であることから実現した。

創部60年を超える専大は松濤會流。最もスタンダードな技や型を維持しているが、対外試合は一切行わず、型を極めることに心血をそそいでいる。

埼玉大空手部も60年近くの伝統を持ち、所属会派は玄和会。こちらは防具を用いた自由組手を通じて強さを追求している。また、上達論に基づいた練習体系を持ち、誰かが強くなることを目指している。

当日、専大は突き、蹴り、受けといった基本技を繰り返していき、同部の特徴である力強くキレのある技を演武した。

埼玉大は防具を使用しない自由組手を披露した。体を激しくぶつけ合い、実戦さながらの緊迫感が漂った。

練習後、専大・岩田主将は「埼玉大の選手は型が美しい。基礎練習に時間を割いているからだと感じる。それを見習い、今後も気合を入れて稽古に励みたい」と語った。

また埼玉大の福田主将は「専大は一つひとつの技が鋭い。蹴り技の型も決まっていた」と語り、ともに合同稽古で刺激を受けた様子だった。

(土屋)

夏の合宿日程

- 前期を終え、各々は夏期休暇を利用し合宿を行う。春季の雪辱を期す野球部は、従来の合宿に加え、8月14日から3日間、北海道釧路市で行われる亜大の強化合宿に参加。JR北海道、北海道東海大などとともに合同練習、練習試合を行い、1部復帰を目指す。
- 各部の合宿日程は次の通り(8月中旬まで開催の主な日程のみ記載)。
- ◇アーチェリー部 8月8~12日(群馬県利根郡猿ヶ京)
- ◇アメリカンフットボール部 8月5~16日(長野県信濃町)
- ◇剣道部 8月16~23日(福岡県大牟田市)
- ◇柔道部 8月1~6日(長野県須坂市)
- ◇水泳部 【競泳】8月8~18日(茨城県)
- ◇スキー部 8月1~6日(長野県白馬村)
- ◇スピードスケート部 (6月5日~7月3日、生田キャンパスほか) 4勝4敗【5位・6位決定戦】専大13~12中大 ※最終順位15位
- ◇バドミントン部 4月10日~7月10日、後楽園ホールほか) 2勝3敗【4位
- ◇レスリング部 西条農高・経営4)、山口佳恵(商3・埼玉栄高) || ベスト16 【女子ダブルス】鍋井彩果(商2・高松商高)・青木優子(経営1・千葉敬愛高) 級) 半田 || 3位
- 7月25日~9月20日(北海道帯広市)
- ◇漕艇部 8月1~10日(神奈川県相模湖)
- 8月16~26日(石川県小松市木場瀧)
- ◇バスケットボール部 【男子】8月11~16日(宮城県刈谷郡)
- 【女子】8月16~20日(愛知県刈谷市)
- ◇バドミントン部 8月7~13日(静岡県伊東市)
- ◇バレエボール部 8月14~18日(奈良県大里市)
- ◇野球部 8月13日~17日(北海道釧路市)
- ◇ラグビー部 7月31~8月18日(北海道稚内市)
- ◇陸上競技部 8月2~8日(新潟県妙高市)
- 8月14~27日(北海道別海町)
- ◇レスリング部 8月10~17日(東京)
- ◇ローラースケート部 8月7~13日(長野県長野市)

▲ サープを打つ中村航太郎(商4・宮崎工高)

